

なごはま健康づくり 0 次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

本研究では、当大学の倫理委員会の審査を経て大学長の承認を受け、共同研究機関として下記の施設が新たに参加することになりました。これに伴い、本研究に参加された方の遺伝子データ(ゲノムデータ)を下記の施設において利用します。

対象となる方は、本研究に参加していただいたなごはま健康づくり 0 次クラブ会員で、下表の日程でインフルエンザワクチンの接種および採血をさせていただいた方です。

グループ	ワクチン接種日 採血日 1 回目	採血日 2 回目	採血日 3 回目	採血日 4 回目
A グループ	2011 年 12 月 3 日	2011 年 12 月 4 日	2011 年 12 月 10 日	2012 年 3 月 3 日
B グループ	2011 年 12 月 17 日	2011 年 12 月 18 日	2011 年 12 月 24 日	2012 年 3 月 17 日

いずれかのグループに該当する方で、自身の遺伝子データ(ゲノムデータ)を下記の施設に研究目的で提供または利用されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ(ゲノムデータ)が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称(研究番号)	季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析(G0445-9)
研究の目的	季節性インフルエンザワクチン接種後に生じる体内の代謝物・転写物の変化を網羅的に解析し、白血球分画の変化、抗体産生や副作用発現に関わる代謝物・転写物・遺伝子を特定・解析する。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
試料・情報を提供する共同研究機関及び各機関の研究責任者	大阪国際がんセンター研究所 井上徳光 Seoul National University College of Medicine Ju Han Kim

研究期間	2011年11月8日から2026年10月31日まで
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報
試料・情報の利用目的・方法	疾患患者（補体験連疾患患者(大阪国際がんセンター研究所)または鬱病患者（Seoul National University College of Medicine））のゲノム情報と発症していない健常者（「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」参加者）のゲノム情報を比較し各疾患に関連する可能性のある遺伝子変異を特定する。
試料・情報管理責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 電話：075-751-4157 京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛 電話：075-753-9301 Email：kikaku06@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp